



青春、始動！ 四万十高校4月のイベントレポート



青春の扉を開く！ 「対面式」「部活動紹介」で高まる期待！

4月10日、12名の新入生を歓迎し交流を深める「対面式」と「部活動紹介」を行いました。部活動紹介では、ソフトボール部、女子バスケット部、音楽部、ドローン部、情報処理部、放送部が、それぞれに魅力を紹介します。

ソフトボール部はキャッチボールを、バスケット部はシュートパフォーマンスなどを披露。中でも「わー」と歓声が上がったのは、ドローン部がドローンを離陸させた時でした。

新入生にとっては、これから始まる青春の3年間への期待が高まった時間となったようです。



火起こしから始まる笑顔！ 全校生徒で楽しむバーベキュー遠足

4月18日、全校生徒で「轟公園」へ遠足に行きました。各ホームや学年混合のグループに分かれてのレクリエーション、バーベキューを満喫しました。

仲間と協力しながらの火起こし体験など、小規模校ならではの遠足を、みんなで楽しみ、笑顔の絶えない遠足となりました。



生徒会と行く、 1年生同士の仲を深める「仲間づくり研修」

4月17日、生徒会4名が企画した「仲間づくり研修」を行いました。最初の自己紹介の時には緊張していた1年生も、その後のレクリエーションでお互いに手作りの紙飛行機を飛ばすうちに自然と笑顔に。

雰囲気も和んできたところで校舎を飛び出し、道の駅四万十とおわで昼食、さらには海洋堂ホビー館を満喫。1年生同士の距離が縮まった楽しい1日となりました。



6月の主な予定

3	火	中間試験
4	水	中間試験
5	木	中間試験
6	金	中間試験
7	土	模試、公務員模試（3年） 土曜補習（1年）
8	日	模試（3年）
14	土	土曜補習
22	日	簿記実務検定
26	木	期末試験発表

このコーナーでは、県立窪川高校、県立四万十高校、町営塾「じゆうく。」での生徒たちの活動を月替わりで紹介します。



武内 百合さん
(パン工房経営)



子どもたちの記憶に残るパンを

子どもの頃、近所の店で食べた「地元の味」は、大人になっても意外と覚えているものだ。店のおんちゃん、おばちゃんと交わした何気ない会話も、故郷の思い出として心に残っている。

大正地区で「ゆりパン」を営む武内百合さんは、そんな「子どもたちの記憶に残るパンを焼きたい」と話す。自宅の敷地に建てた3畳ほどの小さな工房で、クロワッサンや食パンを作っている。

工房では製造のみを行い、店頭販売はしていない。ネット通販のほか、道の駅四万十大正や町内のカフェなどで委託販売している。一人で作れる数には限りがあり、すぐに売り切れてしまうことも多いという。たくさん作ろうとした時期もあったが、「どうしても納得のいくものが出せなくて。今は自分のこだわりが行き届く量を焼くようにしています」。

もともとは町役場の臨時職員だった。2年ほど前、子育てと家事を優先するため、「自宅で働けるように」と考えてパン工房を始めた。パン作りは独学の趣味だったが、ママ友

や地域の人からの「おいしいから、もっと作ってほしい」という声に背中を押された。

看板商品のクロワッサンは、外はパリッと中はふんわり。バターが香る食べ応えのある一品だ。生地を仕込んでから2～3日かけて熟成させ、一つ一つ丁寧に焼き上げる。理想の食感を出すため、小麦粉の種類や配合を変えながら試行錯誤を重ねた。本場パリのクロワッサンを取り寄せて食べてみたこともある。

「子どもの頃、商店街の人たちによく遊んでもらったなあって思い出すんです」と武内さん。大正の街並みは当時よりも少し寂しくなったが、「今の子どもたちにも、地元で育った良さを思い出せるような味があればいいなと思って」。少しでも地域を盛り上げようと、こだわりのパン作りを続けている。



町にはこんな waza も

バレーボールクラブのキャプテン！ 藤田 和笑さん 影野小学校6年

高知県選抜の選手も輩出している「伊与喜VBC」（黒潮町）のキャプテンを務める。「監督もチームもみんな優しく楽しい。アタックで点が決まった時が面白いです」。香南市や佐川町など、さまざまな地域から通う仲間と練習に励んでいる。

こだわりの「技」でできりと光る四万十町の人々を紹介します。
ちょいwaza!!は随時募集中!▶

